



# 鶴嶺中学校だより



学校だより NO13  
令和7年3月25日  
校長 阿部 知宏

## 1年間ありがとうございました。新年度の活躍に期待します。

明日から春休みに入ります。保護者の皆様のご協力とご理解により、何とか令和6年度を終えることができそうです。学校全体としては落ち着いた環境での教育活動を実施できていると感じていますが、個々の事案では皆様にご心配をお掛けしたこともあったと思います。今後も改善できるよう努力を続けます。

令和7年4月7日(月)には、新入生が入学してきます。生徒の皆さんは1つ学年があがります。各自今年度を振り返り、新たな気持ちで令和7年度を迎えてほしいと思います。

## 素晴らしい卒業式、学年合唱の演出もとても素敵でした。

令和7年3月12日(水)239人の生徒たちが卒業しました。多くの保護者の皆様にも参列していただき、たくさんの思いのこもった卒業式となりました。式では、次の様な話をさせていただきました。

卒業生の所属する緑学年の雰囲気の温かさや純粹さの素晴らしさ。人とのつながりはどんな場面でも一方的ではなく実はお互い様であること。AIの発達と進化により、便利になったり現実ではない世界(故人との再会など)による慰めや喜びを感じることができるようになってきていますが、自然災害等で精神的な助けが必要な時には、(電力等のインフラが使えない)AIなどの技術や架空の世界に頼ることができない、などの例を出しながら、また、戦争や紛争、人をだましたり人を利用する犯罪が多発している現代社会だからこそ、本物の人の温かい心や励ましが今まで以上に大切であること。その優しい心や思いやりの心を卒業生の皆さんは持っていること。そして、有村架純さんが卒業式で聴き印象に残っている言葉

「ありがとう」の数だけ、人は優しくなれる

「ごめんなさい」の数だけ、人は賢くなれる

「さよなら」の数だけ、人は愛を知る

を紹介しました。

式の最後の学年合唱では、各パートの数人の代表者が歌の途中でステージにのぼり、合唱に色を添えました。とても素晴らし歌声と演出でした。